

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-02-01-01
事務事業名	大気汚染防止事業		根拠法令・要綱等 大気汚染防止法
事業開始年度	H17.3.22～		
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 環境課
	中項目 基本施策	自然と共生するまちづくり	職・氏名 保全係長 尾野田瑞穂
	小項目 施策	環境保全	電話 0869-64-1822

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	大気汚染の影響を受ける恐れのある市民
目的(何のために)	大気中の環境状況の現状及び経年推移を把握するため、環境指標物質や人体に有害な物質などを調査測定し、公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。
行政活動(どのような方法で)	市内4カ所での常時監視測定、飛散物質の調査及び燃料中に含まれる物質の分析調査。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	大気の状態を常に把握することにより、今後の環境保全及び改善への意識改革を図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	大気汚染調査		回	5,158	4,793	4,793
	測定機器管理		回	216	204	204
	最新規制適合車等代替の助成金交付		台	3	9	10
事業費	直接事業費	千円	19,540	15,688	12,439	
	人件費	千円	5,150	5,756	2,645	
	事業費計		24,690	21,444	15,084	
財源	国県支出金	千円	485	3,304	4,590	
	受益者負担					
	市一般財源	千円	11,100	3,300	0	
			13,105	14,840	10,494	
必要人員		人	0.65	0.83	0.41	
結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
結果指標	調査項目別に市内測定所、測定機器で調査した回数		説明			
	結果指標量	回	5,158	4,793	4,793	
	対前年比	%	-	92.9%	100.0%	
	活動コスト	円	8,549,000	7,730,550	6,982,430	
	単位当たりコスト	円	1,657	1,612	1,456	
結果指標	市内4測定所に設置された測定器の保守管理回数		説明			
	結果指標量	回	216	204	204	
	対前年比	%	-	94.4%	100.0%	
	活動コスト	円	7,308,000	6,481,370	6,206,184	
	単位当たりコスト	円	33,833	31,771	30,422	

事業の成果			
成果指標名	調査計画達成率	式又は説明	実施調査回数 / 計画調査回数 回数 = 調査地点数 × 調査回数 × 調査項目数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	0.99	0.99	0.99
対前年比		100.00%	100.00%
到達目標値	1.00	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的・意図性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	環境の状況や変化を常に把握することで、正確な調査測定を行っていく。	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	B
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	機器管理費の減額により、単位あたりのコストが昨年度に比べて減少となっている。事業費は調査実施量により変動するため、コスト効率化については、法改正や環境状況等の変化、財政状況に応じ、調査項目・調査地点等の検討も随時行っていく必要がある。事務作業の見直しにより人件費が削減できた。	
職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	測定機器の故障等により欠測が出るため目標が達成できていない。信頼性の高いデータを残すため、より確実な調査を行い欠測を減らすことが必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
成果向上の可能性			
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度			
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	調査内容については、前年度同様の調査項目・調査地点において行っているが、監視データの欠測を無くすため、定期的な保守管理を実施している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 4,793	結果指標量	204
成果指標量	1.00		

総合評価		評価区分<A-E>	B
大気汚染常時監視については、更に欠測データを減らすために測定機器に十分な保守管理を行う必要がある。また、周辺環境等の状況変化に応じ調査内容を改善しながらの事業継続が必要である。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	測定地点・項目の見直し、削減	H21～	経費削減